

第四次葉山町総合計画基本構想（案） 第四次葉山町総合計画前期 基本計画（案）に関する総合計画審議会 の主な意見への対応一覧

【葉山町総合計画審議会】

基本構想（案）

【葉山町総合計画審議会】

○ 第四次葉山町総合計画基本構想（案）に関する総合計画審議会の主な意見への対応一覧について

NO	事務局案 ページ	答申案 ページ	項目	主な意見	町の対応
1	3	5	計画の構成と期間	冒頭の“本計画”は“総合計画”と表記すべきではないか。	修正します。
2	5	11	基本理念	冒頭の“私たちのまち”は不要ではないか。	削除します。
3	5	11	基本理念	本文中に、“協働”によってまちづくりを進めていくことをもっと強く示すべきではないか。	「基本理念」を行政運営編として整理している「“みんなで支える”葉山」も含めた4つとし、協働によるまちづくりを明確に示します。
8	5	11	基本理念	基本理念には、行政運営編として整理している「“みんなで支える”葉山」も含めた4つとしてよいのではないか。	
4	5	11	基本理念	「“人を育てる”葉山」、「暮らしを守る”葉山」、「街が躍動する”葉山」の下線の表現を“～を～”に統一してはどうか。	「“街が躍動する”葉山」を「活力を創造する”葉山」に修正します。
7	5	11	基本理念	「“街が躍動する”葉山」は今までの審議会での審議過程を踏まえると、他の表現の方がよいのではないか。	
5	5	11	基本理念	「“人を育てる”葉山」の中に町内の人材を育てるだけでなく、町外からの人材流入に関する記述も入れるべきではないか。	町外からの人材流入については、子育てや教育、自然環境、都市基盤など様々な分野における取組みが充実することにより、まちの魅力が増し、人材流入につながることから、「基本計画」の各取組みにおいて対応していく整理としています。
6	5	11	基本理念	町外からの人材流入はまちの魅力を充実させることにより促進するべきで、「街が躍動する”葉山」で整理した方がよいのではないか。	
9	6	12	まちの将来像	将来像フレーズの中の“心のふるさと 葉山”は外から葉山をみたイメージ。“ふるさと 葉山”でよいと思う。	対応します。
10	8	14	基本目標	“政策の分野”の表記は、策定作業段階においては、主管課等が明確になるため議論の整理としては有効であるが、成果物としての段階では削除する方向でよいのではないか。併せて各基本目標中の政策分野の表記も削除するべきではないか。	第四次葉山町総合計画は、町民にとっても職員にとっても分かりやすく使いやすい計画とするとともに、しっかりと進行管理(評価)ができる計画とすることを「計画の基本姿勢」として掲げています。 そのためには、計画書の中でも、政策・施策・事業のつながりを分かりやすく示していくことが必要であると考えています。
11	10	16	基本目標3 (子育て)	表現として“ <u>妊娠・出産期から思春期までの</u> ”と期間を明確に区切る必要はないので、削除でよいのではないか。	削除します。
12	10	16	基本目標3 (子育て)	「将来このまちで子どもを育てたい」「将来このまちで子どもを産み育てたい」の方がよいのではないか。	追加します。
13	11	17	基本目標4 (医療)	医療体制の連携に関する具体策については、基本計画の中できちんと整理してほしい。	対応します。
14	12	18	基本目標5 (水環境)	“公共下水道と合併処理浄化槽の普及促進” “公共下水道の整備と合併処理浄化槽の普及促進”とするべきではないか。	対応します。
15	14	20	基本目標7 (居住環境)	住環境の整備や空き家対策に関する記述を入れるべきではないか。	「基本計画」の中で対応します。
16	14	20	基本目標7 (公共交通環境)	まず、今ある“公共交通環境”を守る、維持確保に努める旨を書き加えるべきではないか。	修正します。
17	共通			本文中の「」を用いた表記は、他の文献の引用でなければ外すべきではないか。	見やすさの観点から、文献の引用だけでなく、注意喚起をしたい部分やキーワードにも用いていきたいと考えています。
18	共通			人、ひとの表現の使い分けが必要ではないか。	漢字に統一します。
19	共通			見出しの数字の分かりやすい表記をお願いしたい。、1、、(1)など	編集段階で対応します。
20	共通			各施策の(取り組みの方向)の表記を検討してほしい(「具体的な将来像」を1行目に、「施策名」を2行目にする)。	(取り組みの方向) (施策分野)と表記します。
21	共通			政策分野を横断して取り組むべき事項についての整理が必要ではないか。	「基本計画」の個々の「基本施策」の中で具体的に 行っていく横断的な取組みを記述します。
22	共通			各「取り組みの方向」において、“町が主体となって取り組んでいくもの”と“後方支援的な役割を担っていくもの”の整理は、今後策定する実施計画の中で明確にしていくとよいのではないか。	基本計画の中で対応します。

基本計画（案）

【葉山町総合計画審議会】

○ 第四次葉山町総合計画前期基本計画（案）に関する総合計画審議会の主な意見への対応一覧

NO	事務局案 ページ	答申案 ページ	項目	主な意見	町の対応
1	10	38	まちづくり指標	「不登校児童生徒数」の「めざそう値」は“0人”とするべきではないか。	「不登校児童児童生徒数」については、指標として適当でないと考え、削除します。
2	10	38	現状と課題	安全・安心な学校づくりの取り組みの中に、消防力の向上(強化)の視点(スプリンクラーの設置等)を追加するべきではないか。	校舎等にかかる修繕には防火扉等の消防力の視点も含んだものとして整理しています。
3	10	38	現状と課題	子どもの貧困問題は地域性で異なり、一概にどの市町村でも課題設定する必要はないと思うが、所管課に現状の確認をしてほしい。課題設定するなら、低所得者向けの教育メニュー等を検討すべきではないか。	現況を確認したうえで、検討します。
4	11	39	単位施策	単位施策1-01「教育内容の充実」中の「町費教員によるきめ細かな教育」という表現は、町費教員だけでなく県費教員も合わせた総合的な視点からの表現にするべきではないか。	ご指摘の点を踏まえ、修正します。
5	12	40	現状と課題	「○核家族化や地域社会での希薄化により、家族や地域において豊かな人間性を育むために自然体験や社会体験をする機会が、を「○核家族化や地域社会での人間関係の希薄化により、家族や地域において豊かな人間性を育むために必要な自然体験や社会体験をする機会が」と下線部分を補記した方が分かりやすいのではないか。	ご指摘の点を踏まえ、修正します。
6	13	41	単位施策	どの施策においても“学ぶ”というインプットの面に重きが置かれているが、学んだことを生かせる場等のアウトプットの面に関する記述が弱いと思われる。	ご指摘の点を踏まえ、記述を見直します。
7	13	41	基本方針	「人材のネットワーク化」とあるが、他の施策の表記と整合を図り、「団体・人材のネットワーク化」とした方がよいのではないか。	ご指摘の点を踏まえ、修正します。
8	13	41	単位施策	単位施策2-03「青少年健全育成の推進」中の「また、青少年を有害な環境から守り、明るい社会づくりを進めるため、社会環境健全化の推進に努めます。」は表現があいまいで抽象的である。現行計画の方が具体的である。	より具体的な手法については実施計画において検討していきます。
9	15	43	協働でできること	単位施策3-01「蔵書・資料の充実」中の「町民からの資料提供も有効に活用し、」の部分を追加し、「○町民は、家庭で不要となった図書を寄贈します。」等の表記を追加してはどうか。	ご指摘の点を踏まえた記述を追加します。
10	16	44	基本施策がめざす姿	「○できるだけ多くの～」の「できるだけ」は不要ではないか。	ご指摘の点を踏まえ、修正します。
11	16	44	まちづくり指標	「学校プール利用者数(夏季期間中)」の単位は%の方が分かりやすい。	「学校プール利用者数(夏季期間中)」については、指標として適当でないと考え、削除します。
12	20	48	単位施策	災害時における草津町との連携・協力についての表現を追加するべきではないか。	ご指摘の点を踏まえた記述を追加します。
13	24	52	まちづくり指標	「認可保育園数」の「めざそう値」の“5人”は目標設定として過少ではないか。	ご指摘の点を踏まえ、見直します。
14	24	52	現状と課題 単位施策	「子ども・子育て支援新制度に関するアンケート調査報告書」を受けて、病児・病後児保育に関する記述を入れるべきではないか。	ご指摘の点を踏まえた記述を追加します。
15	24	52	現状と課題 単位施策	子ども・子育て支援新制度の円滑な運営は、あくまで目標を達成するための手段である。何を目標として取り組むか、町民のニーズにどれだけ応えられるかを記述するべき。	ご指摘を踏まえた記述にします。
16	24	52	現状と課題 単位施策	発達障害児はどの地域でも増えており、地域の偏在性が低い。課題認識が低く、P24の記述では物足りなく感じる。“何かしていく”くらいの記述があればと考える。	ご指摘の点を踏まえ、記述を再検討します。
17	24	52	単位施策	単位施策8-01「子育て支援サービスの充実」にさまざまな取り組みを盛り込みすぎではないか。もう少し細分化した方がよいのではないか。	記述内容を精査したうえで、再検討します。
18	共通	共通		全体を通じて目新しさが無い。今後10年から15年間で直面する課題(人口減少、少子高齢化等)に対して、革新的な取り組みが見当たらない。	ご指摘の点を踏まえ、再検討します。
19	共通	共通		まちづくり協会に関する記述が「基本理念1“人を育てる”葉山」のどこかしらの施策にあるべきではないか。	まちづくり協会に関する記述については、「基本理念4“みんなで支える”葉山」中の「基本施策33 協働によるまちづくりの推進」で整理しています。
20	共通	共通		「協働でできること」は、今回の総合計画のひとつの大きな取り組みである。もっと提案するべきではないか。	できるだけ提案したいと考えます。
21	共通	共通		基本目標にぶら下がる基本施策の数のバランスを考えるべきではないか(「基本目標1」=1基本施策、「基本目標2」=6基本施策、「基本目標3」=1基本施策となっている。)	ご指摘の点を踏まえ、再検討します。
22	29	57	単位施策	単位施策9-01「自発的な健康づくりの支援」の中に“スポーツ”を通じた健康づくりの視点が出てきてもいいのではないか。	ご指摘の点を踏まえた表現を追加します。
23	29	57	単位施策	P28の「まちづくり指標」に「運動を週3回以上している青年期(19歳から39歳)の人の割合」を設定しているが、単位施策に運動(スポーツ)に関する取り組みの記述がない。	ご指摘の点を踏まえた表現を追加します。

24	30・31	58,59	現状と課題 単位施策	総合病院の誘致にかかる取り組みを記述するべきではないか。	地域医療体制については、地域にある保健・医療・福祉資源を有効活用するとともに、医療機関の相互連携と機能分担の促進、救急医療の充実に努めていくことを「基本方針」としており、現行案のままでいきたいと考えます。
25	32・34・36	60,62,64	まちづくり指標	「基本施策11 地域福祉の充実」、「基本施策12 高齢者福祉の充実」、「基本施策13 障害児・者福祉の充実」については、「基本施策がめざす姿」とその達成状況を測る「まちづくり指標」が合っていない(関連性が低い)のではないか。	ご指摘の点を踏まえ、見直します。
26	34	62	まちづくり指標	介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護保険サービスや高齢者福祉サービスにかかるサービス充足率を用いてはどうか。	ご指摘の点を踏まえ、見直します。
27	34	62	まちづくり指標	「要支援・要介護認定率」は、意図的に結果を操作する(認定率を低くする等)のではという誤解を招く可能性があるのでは、再考すべきではないか。	「要支援・要介護認定率」については、指標として適当でないと考え、削除します。
28	34	62	まちづくり指標	介護保険制度をうまく利用することにより、よりよい生活ができるようになること大事であるので、単に「要支援・要介護認定率」を下げることを“ものさし”とするのが果たして適当かどうか。	
29	35	63	単位施策	高齢者を地域で支える具体的な取り組みとして、小規模多機能型居宅介護についての記述ができないか。	ご指摘の点を踏まえた表現を追加します。
30	35・37	63,65	単位施策	ソフト面による取り組みだけでなく、公共施設や駅等におけるバリアフリー化の推進といったハード面の取り組みに関する記述があるべきではないか。	ご指摘の点を踏まえ、バリアフリー化等の取り組みについては、「基本理念3 “活力を創造する”葉山」中の「基本施策23 地域特性を生かしたまちづくりの推進」の中で位置付けます。
31	36	64	まちづくり指標	「相談支援事業所への相談件数」は増やすことをめざそう値としているのは、現行の相談対応体制が不十分であることから設定したものと思われるが、一方で悩みごとを減らすという視点から、相談件数の減らしていくことをめざそう値とすることもできる。“ものさし”として適当か、再考すべきではないか。	相談支援事業所は、障害福祉サービス等を提供するための相談機関であり、その充実を図るため、単位施策としても位置付けていることから、このまま使っていきたいと考えます。
32	37	65	単位施策	単位施策13-02「就労の促進」中の「作業所的な」の“的な”は現代風の話し言葉なので用いるべきではない。	ご指摘の点を踏まえ、修正します。
33	37	65	用語の解説	「一般就労」と「福祉的就労」の定義(最低賃金法の適用等)を再確認してほしい。	ご指摘の点を踏まえ、記述を見直します。
34	38	66	現状と課題	農作物等への被害が拡大しているイノシシに関する記述がない。	本文中の「有害鳥獣」という言葉の中にご意見の趣旨を包含していると考えています。
35	39	67	単位施策	単位施策14-02「有害鳥獣の防除と在来希少生物の保護」において、有害鳥獣の防除だけでなく、「増やさない、逃がさない」といった環境教育による取り組みも記述すべきではないか。	ご指摘の点を踏まえた表現を追加します。
36	39	67	単位施策	「基本構想」P12では、「町域を越える緑の保全」に関する記述があるにもかかわらず、「基本計画」においてはそれに関連する記述がない。	ご指摘の点を踏まえた表現を追加します。
37	39	67	協働でできること	協働による間伐材の利用についても記述できないか。	ご指摘の点を踏まえた表現を追加します。
38	40	68	現状と課題	「現状と課題」にあるように、葉山町における一般廃棄物処理施設の整備は、人口規模から考えてもあり得ないと思う。整備しないことについて町民に理解してもらえよう説明をきちんとすることが大事である。	いただいたご意見については、今後の取り組みを進めていくうえで、検討させていただきます。
39	40	68	現状と課題	「現状と課題」中に“全町での「戸別収集」を導入”とあるが、一体的な取り組みとして「資源ステーション収集」も併せて表記するべきではないか。	ご指摘の点を踏まえた表現を追加します。
40	40・41	68,69	現状と課題 単位施策	「一般廃棄物」の用語の解説が必要である。	ご指摘の点を踏まえ、用語の解説を追加します。
41	40・41	68,69	現状と課題 基本方針	「基本構想」P12では、「ゼロ・ウェイスト」に関する記述があるにもかかわらず、「基本計画」においてはそれに関連する記述がない。	ご指摘の点を踏まえた表現を追加します。
42	41	69	単位施策	「まちづくり指標」において「生ごみ処理機普及世帯率」を設定しているが、インセンティブが働く(動機づける)ような取り組みが必要ではないか。	より具体的な手法については実施計画において検討していきます。
43	41	69	単位施策	ごみの資源化・減量化推進の意識啓発の観点から、どれくらいのごみの排出量があって、そのうちどのくらい処分量や再生原料としての買取量があったといったような報告を重量ベースで定期的に報告するしくみを考えてほしい。	いただいたご意見については、今後の取り組みを進めていくうえで、検討させていただきます。
44	41	69	単位施策	ごみの発生抑制に関する記述がない。“環境教育”や“情報提供”、“可能な限り環境に負荷をかけない”といった表現を入れるべきではないか。	ご指摘の点を踏まえた表現を追加します。
45	41	69	単位施策	単位施策15-02「ごみの安定処理」にかかる記述は抽象的すぎる。少なくとも平成31年度にはこんなことができているくらいのことを記述してほしい。	「基本計画」においては、町が進んでいく大きな方向を掲げ、その実現を図るためのより具体的な取り組みは「実施計画」で示します。
46	43	71	単位施策	基本方針には蓄エネの推進とあるが、具体的な取り組みが書かれていない。	ご指摘の点を踏まえた表現を追加するとともに、より具体的な手法については実施計画において検討していきます。

47	44～47	72～75	基本施策の統合	基本施策17「公共下水道事業の整備」と基本施策18「合併処理浄化槽の整備」は施策分野である「水環境」という視点からひとつに統合できないか。	施策分野「水環境」の将来像“良好な水環境が未来の世代に引き継がれている”状態を達成するための手段(基本施策)として、公共下水道と合併処理浄化槽を位置付け、それぞれにおいて進行管理も行っていくことを予定しているため、現行案のまま進めたいと考えます。
48	45	73	単位施策	単位施策17-01「公共下水道の整備促進と普及・促進」に下水道課所管の接続工事費に対する補助制度を記載するべきではないか。基本施策18「合併処理浄化槽の整備」の方には記載がある。	ご指摘の点を踏まえた表現を追加します。
49	45・47	73,75	単位施策	水質保全のための取り組みとして、油を流さない等発生抑制に関する記述を入れるべきではないか。	ご指摘の点を踏まえた表現を追加します。
50	48	76	まちづくり指標	「消防車両配備率」の「めざそう値」は“100%”とするべきではないか。	「消防車両配備率」については、現在、その整備水準の算定根拠である消防庁告示「消防力の整備指針」の見直しが行われているところであり、現時点において、「めざそう値」を掲げることが困難であることから、指標から取り下げたいと考えます。
51	49	77	単位施策	単位施策19-01「消防組織の強化」に女性消防団員の入団促進とあるが、女性の入団に伴う施設環境の整備等に関する記述も検討すべきではないか。	より具体的な取り組みについては実施計画において検討していきます。
52	50・51	78,79	現状と課題 単位施策	“複合災害”に対する何らかの検討について記述できないか。	ご指摘の点を踏まえた記述を追加します。
53	52	80	現状と課題	「現状と課題」中に「地域のおける人間関係の希薄化」や「犯罪の抑止機能が低下」という表現があるが、きちんと事実確認したものか確認してほしい。	ご指摘の点を踏まえ、記述を見直します。
54	52	80	現状と課題	「クルマ社会」という言葉の定義をきちんと整理するべきではないか。	ご指摘の点を踏まえ、記述を再検討します。
55	52	80	現状と課題	「現状と課題」中に「運転免許所持者の増加」や「通過交通量の増大」とあるが、個人的な感覚では逆の認識である。交通事故被害者も長期的に見ると減少傾向ではないか。	ご指摘の点を踏まえ、記述を見直します。
56	53	81	単位施策	単位施策21-01「防犯対策の推進」中の“タイムリーな防犯情報の提供”とあるが、“タイムリーな”という表現は計画書中の表現としてはふさわしくないのではないか。	ご指摘の点を踏まえ、修正します。
57	共通	共通		個人を示す表現が「自身の」や「自らが」や「町民一人ひとりが」と、ページによって統一されていない表現となっている。計画全体を通して整理した方がよいのではないか。	ご指摘の点を踏まえ、整理します。
58	共通	共通		一部の「協働でできること」において、ボランティア団体の固有名詞が表記されている箇所があるが、計画全体を通じての固有名詞の扱いについて整理するべきではないか。	ご指摘の点を踏まえ、整理します。
59	共通	共通		今回の基本計画に掲げている項目は、「めざす姿(目標)」、「まちづくり指標(ものさし)」、「協働でできること」等とても良い取り組みである感じている。	「基本計画」に掲げた目標の実現に向けた取り組みを着実に推進していきます。
60	共通	共通		「空き家」の活用等に関する記述が各基本施策中で散見されるが、個別の施策だけでなく、大きな政策課題としてとらえられないか。	ご指摘の点を踏まえ、空き家の有効活用等の取り組みについては、「基本理念4 “みんなで支える” 葉山」中の「基本施策33 協働によるまちづくりの推進」の中で位置付けます。
61	共通	共通		基本施策ごとに施策を所管する課等を記載しておくことと便利ではないか。	ご指摘の点については、「実施計画」において、対応します。
62	50～55	78～83	基本方針 単位施策	基本目標として「だれもが…」と謳っているからには、町民だけでなく海水浴や観光等で葉山を訪れる人を対象とした視点での配慮も必要ではないか(特に、防犯、防災等では町民だけの視点になっている)。	ご指摘の点を踏まえた記述を追加します。
63	50・51	78,79	現状と課題 基本方針 単位施策	災害を防ぐことだけでなく、速やかに住民の生活を復旧、復興するという視点も大切。そのために、災害廃棄物の処理や地籍調査(境界査定)等への取り組みについての示唆があってもいいのではないか。	ご指摘の点を踏まえた記述を追加します。
64	50・51	78,79	現状と課題 単位施策	基本目標に対して、現状と課題、具体的な取り組みの内容が弱い。「災害廃棄物処理体制の整備」「避難場所の見直しと防災資機材や食糧の備蓄」「ライフラインの確保」「耐震補強工事の充実」「放射性物質への対応」「崖地対策」といった第三次総合計画にある記述は、第四次にも入れるべきではないか。また、近年、各地で発生している「土砂災害対策」についても住民意識の備えとして町としての取り組みも必要に思う。	ご指摘の点を踏まえた記述を追加します。
65	50・51	78,79	まちづくり指標 現状と課題 単位施策	町として、また県と町との連携事業として、原子力災害に対する危機管理、崖地対策の整備推進への取り組みを記述してはどうか。	ご指摘の点を踏まえた記述を追加します。
66	51	79	単位施策	町内に傾斜地は多く、昔の文献を拾えば過去の災害歴や言い伝えなどの資料はある。開発業者や土地購入者、住民がそのことを調べるようなことはしないので、行政がしっかり調査し情報提供していくことが災害防止につながるのではないか。	いただいたご意見については、今後の取り組みを進めていくうえで、参考とさせていただきます。

67	51	79	単位施策	崖崩れ、土砂災害の危険地域は住宅地の周辺以外にもあり、そういった場所で山登りをする人などへの対応も必要なのではないか。	より具体的な取り組みについては実施計画において検討していきます。
68	51	79	単位施策 協働でできること	町民各自の自主的な努力として最低1日分くらいの水や食料を確保しておくような取り組みを加えるべきではないか。	ご指摘の点を踏まえた記述を追加します。
69	58~71	86~99	現状と課題 基本方針	基本目標7の一部で都市計画マスタープランとの関連に触れられているが、実際には公園や水辺環境の整備等、目標全体がマスタープランに関わる。プランの達成度を明示するなど、総合計画とマスタープランとの整合性、言及の均一性を図るべきではないか。	公園等については、個別計画では「都市計画マスタープラン」のほか、「緑の基本計画」等にも記載があるため、ここで「都市計画マスタープラン」のみに触れることは適当でないと考えています。
70	58・59	86,87	現状と課題 単位施策	里山が荒れており、景観を損ねているばかりか、土砂災害等の危険もある。所有者が一人で整備が行き届かないような山について、町としての取り組みを示してほしい。	ご指摘の点については、「基本理念2 “暮らしを守る”葉山」中の「基本施策14 緑の保全」の中で記述しています。
71	58・65	86,93	現状と課題 基本方針	総合計画と都市計画マスタープランは連携して進めるものだが、上位にある総合計画では、細部についてマスタープランに抛らないこともある。マスタープランに触れた記述について、P58「現状と課題」はこのままでいいが、P65「基本方針」では「平成28年...基つき、」の部分は削除すべき。	ご指摘の点を踏まえ、修正します。
72	58~71	86~99	単位施策	他のパートと比較して内容が抽象的で、書きぶりが弱い。もう少し具体的に書くべきではないか。	ご指摘の点を踏まえ、記述内容を再検討します。
73	60・61	88,89	現状と課題 単位施策	一人あたりの公園整備量は高い水準だが、子どもの遊び場や高齢者がくつろげる場所は少ない。ワーキンググループの意見書にある「幼・小・老を一体化した形の公園整備」という課題を計画書に取り入れれば、「魅力ある公園の創出」という取り組みが生きてくるはず。	ご指摘の点を踏まえた表現を追加します。
74	60・62	88,89	まちづくり指標	満足度のほかに、指標とするものがないか、検討してほしい。	「実施計画」において、毎年度進行管理できる「活動指標」を設定していきます。
75	62・66	90,94	まちづくり指標	現状値よりは高いものの、指標のめざそう値が30%にとどめている意図が分からない。	現状値を踏まえたうえで「めざそう値」設定となっています。
76	63	91	単位施策	「自然素材を活用した親水護岸」というと、人が親しむというより生物に優しいというイメージ。「親水階段」「親水公園」といった施設名や整備数を記すなど、より具体的に示してほしい。	「基本施策がめざす姿」を“水辺環境の安全性が確保され、健全な生態系が保たれています”と掲げているため、現行の表現となっています。
77	64・65	92,93	現状と課題 単位施策	県道の歩道の段差は視覚障害者にとっては必要なものであり、利用者同士で複雑な利害関係がある。これに関しては交通弱者への支援というテーマで別項を設けるなど、検討を要する。	道路環境等に限らず、国や県などが事業主体となるものについては、その要望活動について、「基本理念4 “みんなを支える”葉山」中の「基本施策32 広報・広聴活動の充実」の中で記述しています。
78	64・65	92,93	現状と課題 単位施策	県道の歩道をバリアフリーにするといった、町の管轄外となる整備要望等についても、町が町民の意見を集約して県に申し入れを行うなど、一定のプロセスを構築する必要があるのではないか。	
79	65・69・71	93,97,99	協働でできること	町の施策に協力するために町民がいるのではなく、町民のために町の施策があるという視点で書き改めるべき。	ご指摘の点を踏まえ、修正します。
80	66・67	94,95	現状と課題 単位施策	苔むす石垣で作られた生活道路のように、町道にも「葉山の小径」と表現されるような誇るべき財産となる「葉山らしさ」がある。安全性、快適性を追求したハード整備一辺倒でなく、「らしさ」を取り込んでいくような書きぶりにしてほしい。	「基本理念3 “活力を創造する”葉山」中の「基本施策23 地域特性を生かしたまちづくりの推進」の「単位施策23-02 良好な景観の形成」の中にご意見の趣旨を包含していると考えています。
81	66・67	94,95	現状と課題 単位施策	P75「基本施策31 観光の振興」の具体的な取り組みに「...などの観光資源を徒歩・自転車などで楽しく回遊できるようなしくみづくり...」とあるが、現状としてそのような道路環境にない。観光資源としてだけでなく町民のための施策として、「基本施策27 安全で快適な町道の確保」のあたりに現状と課題、具体的な取り組みについて書き込むべき。	「単位施策27-01 町道の整備・維持管理」の表現の中で、ご意見の趣旨を包含していると考えています。
82	70・71	98,99	現状と課題 単位施策	起伏の多い土地柄とはいえ、現代において重要な交通手段であり、健康増進にもつながる自転車についての記述が全くないのは不自然。利用しやすい道づくり等、関連事項を盛り込んでほしい。	ご指摘の点を踏まえた表現を追加します。
83	70・71	98,99	現状と課題 単位施策	高齢化が進む一色台などでは、公共交通が入っておらず困っている。京急に直談判するなど、町が福祉施策として、そういった地区への交通網整備に積極的に取り組むべき。	より具体的な手法については実施計画において検討していきます。
84	70・71	98,99	現状と課題 単位施策	自転車を有効利用するため、公共施設等の駐輪場整備を進めてもらうとともに、通勤・通学のため自転車で返子駅へアクセスする町民のために、駐輪場利用料を補助してほしい。	より具体的な手法については実施計画において検討していきます。
85	70・71	98,99	現状と課題 単位施策	自宅から最寄りのバス停まで徒歩で10~20分かかる町民の利便性を高めてほしい。	より具体的な手法については実施計画において検討していきます。
86	71	99	単位施策	他自治体の例などを参考に、「バス路線の充実」についてももう少し書き込んでほしい。	より具体的な手法については実施計画において検討していきます。
87	72・73	100,101	現状と課題 単位施策	葉山牛の知名度が上がってきているにもかかわらず、出荷量が少なく、販売登録加盟店への入荷も不安定な状況になっている。また、葉山の野菜もブランド化する価値がある。葉山ブランドの育成・維持について、より具体的に書き込む必要がある。	より具体的な手法については実施計画において検討していきます。
88	72~75	100~103	現状と課題 単位施策	産業振興も観光の振興も税収を増やすことが目的なので、「葉山ブランド」という言葉をうまく活かすなどして、いかに利益を上げるかという意識をもって検討してほしい。	いただいたご意見については、今後の取り組みを進めていくうえで、参考とさせていただきます。

89	72～75	100～104	現状と課題 単位施策	今後の町の歳入について、住民税、固定資産税だけでやっていくのは心もとない。観光でもうけてやるうという、そういうパワーが必要。	いただいたご意見については、今後の取り組みを進めていくうえで、参考とさせていただきます。
90	74・75	102,103	現状と課題 単位施策	山に遊びにくる人たちへの対応も視野に入れる必要があるのではないかと。最近では登山だけでなく、マラソンや自転車等、健康維持やトレーニング目的の入山も増えている。観光客のゴミの問題も含めて検討していくべき。	いただいたご意見については、今後の取り組みを進めていくうえで、参考とさせていただきます。
91	74・75	102,103	現状と課題 単位施策	観光地として大々的に集客したいのか、町民が静かに暮らす町にしたいのか、どっちつかずであいまい。本格的に集客を目指すのであれば、駐車場やトイレ、ゴミ処理、商業施設等について具体的に検討する必要がある。	本計画においては、施策分野「観光振興」の将来像にあるように、“ゆったりとした時間が流れるような観光スタイル”を目指しています。
92	74・75	102,103	現状と課題 単位施策	最近、スポーツタイプの自転車を趣味とする人にとって三浦半島は魅力的な場所らしいが、観光振興の中では、自転車を積載して来る車の駐車スペースや歩行者との安全な共存等へも配慮する必要がある。	いただいたご意見については、今後の取り組みを進めていくうえで、参考とさせていただきます。
93	74・75	102,103	現状と課題 単位施策	観光の振興を商業振興にしっかりつなげるための取り組みを書き込むべき。また、「葉山芸術祭」「ツール・ド・三浦半島」「HAYAMANTライアスロン」など、葉山で誇るべきイベントへの支援も、行政主体ではなく住民力を活用する「協働」として書き込んだほうがいい。さらに、魚貝類の多様さで大きな注目を集めている葉山の海も絶対にPRするべき。	ご指摘の点を踏まえた記述を追加します。
94	74・75	102,103	現状と課題 単位施策	町は本当に観光振興をやる気があるのか。他市町では商工会のイベントに対する補助金が2桁ぐらい違う。行政が本気にならないと観光では食べていけない。	いただいたご意見については、今後の取り組みを進めていくうえで、参考とさせていただきます。
95	74・75	102,103	単位施策	ごみの問題については、散らし配布等でマナーとして訴えるだけでなく、例えば、土産の購入と引き換えにごみを置いていけるというような方策を、協働の中で検討していければいい。	より具体的な手法については実施計画において検討していきます。
96	74・75	102,103	単位施策	観光地化を本気で目指すなら、観光客向けのごみ捨て場があったほうがいい。ごみの持ち帰りを求めるより、マナーの向上を図るほうが現実的ではないか。	より具体的な手法については実施計画において検討していきます。
97	74・75	102,103	単位施策	不法投棄というのは犯罪。取り締まるのは警察で町の仕事ではない。もちろんマナーに訴える施策も、協働として考える必要はある。	いただいたご意見については、今後の取り組みを進めていくうえで、参考とさせていただきます。
98	80・81	112・113	現状と課題 具体的な取り組み 協働でできること	高齢化により役員ができない、回覧がスムーズに回らないなどの問題が生じ、町内会の運営が難しくなりつつある中、町の支援策なしに町内会だけで加入率100%を目指すのは困難。	「単位施策34-01 地域コミュニティ活動への支援」の中で、ご意見の趣旨を包含していると考えています。
99	80・81	112・113	現状と課題 具体的な取り組み 協働でできること	集落が密集して自治会加入率が高くうまくいっている地区と、コミュニティを形成はしていても、高齢化や集落の点在により物理的に厳しくなっている地区に対する行政のフォローがどうあるべきか。	より具体的な手法については実施計画において検討していきます。
100	80～83	110～113	現状と課題 単位施策	基本施策32、33に関しては、課題に対する具体的な取り組みの考え方の軸足を地域コミュニティとNPO団体等のどちらに置くのかより、書き方が変わってくる。一方に書くのか、役割分担して両方に書くのか、担当部課で検討してほしい。	ご指摘の点を踏まえ、記述を再検討します。
101	80～85	108～113	全体	コミュニティ・協働の分野で基本施策32・33・34をとらえた場合、町民はまず情報提供を通じて現状を認識し、NPO等で一定の課題に取り組む。32は最終ターゲット。34・33・32の順に並べ替えたほうがいい。	ご指摘の点を踏まえ、順序を並び換えます。
102	81	113	具体的な取り組み	具体的な取り組みの内容が抽象的。「地域コミュニティ組織の活性化に向け、若者、女性が参画しやすい仕組みづくり」についての具体的な記述がほしい。	より具体的な手法については実施計画において検討していきます。
103	81・83	111・113	単位施策	「防災・環境・福祉など、テーマ型の活動の推進」と記されているが、ことテーマ型活動については自治会ではなく、むしろ非営利・公益的な活動に入れるべきではないか。	ご指摘の点を踏まえ、記述を再検討します。
104	82・83	110・111	現状と課題 具体的な取り組み	町民の自発的な非営利・公益的活動をどうやって支えるのかが見えない。NPO等に寄付をした時の寄付金控除や住民税の減免措置といった具体的な仕組みを示すなど、もう少し踏み込んだ記述がほしい。	より具体的な手法については実施計画において検討していきます。
105	82・83	110・111	まちづくり指標 単位施策	33-01で「また、・・・NPO法人葉山まちづくり協会、葉山町社会福祉協議会などの・・・整備していきます。」とあるが、主体は他にもあるのか。まちづくり指標のところには「まちづくり協会」の登録活動団体数しかないが、それだけでいいのか。	協働を推進していくうえで、その中心的役割を担う「NPO法人はやままちづくり協会」と考えおり、まずは“同協会の登録活動団体数”を指標とすることを考えています。
106	82・83	110・111	まちづくり指標 単位施策	葉山町に所在地が登記されたNPO法人を把握できるなら、その数を指標としてもいいのではないかと。どんな形で協会に入ってもらうかも含めて協働概念の整理や推進体制の整備をしていく必要がある。	
107	82・83	110・111	現状と課題 単位施策	団体は結構あるが活動内容に偏りがあり、環境保護が多く、福祉等がもう少し増えてほしいという説明を事務局から受けたが、文章からうかがえない。	より具体的な手法については実施計画において検討していきます。
108	82・83	110・111	現状と課題 単位施策	近年、地域コミュニティに大きな関心を寄せる人が増えている反面、自分の家族だけがよければいいという考え方の人たちも増えている。そういう認識、視点に基づく取り組み方も盛り込んでいく必要がある。	より具体的な手法については実施計画において検討していきます。
109	84・85	108・109	単位施策	第三次総合計画には記載があった「情報公開の推進」がない。当然のことだから記載しないというスタンスでは、内容が弱い。34 - 01のところに、積極的に情報発信する姿勢が伝わるような書き方を検討してほしい。	ご指摘の点を踏まえた記述を追加します。
110	84・85	108・109	基本施策がめざす姿 現状と課題 単位施策	めざす姿として「有益な情報、重要な情報が町民に漏れなく伝えられ」とあるが、「広報はやま」を読むのが面倒、手動充電ラジオの操作が難しいという高齢者に重要な情報をどう伝えるのか。防災無線も場所によっては全く聞き取れない。単一方法で全町民に伝えるのは難しいという視点に立って、漏れなく伝えられる具体的な方策を示してほしい。	より具体的な手法については実施計画において検討していきます。

111	86・87	118・119	基本施策がめざす姿 現状と課題 基本方針 単位施策	めざす姿に「町職員が常に前向きに考え」云々とあるが、こんなことは当たり前。その上で町をどう維持していくのか、どう変えていくのかという視点がないと意味がない。もう少し踏み込んで書いてほしい。	より具体的な手法については実施計画において検討していきます。
112	86・87	118・119	現状と課題 単位施策	人事評価の対象は正規職員が主だが、町民から見れば非常勤、パートもすべて町の職員であり、実際そういった人材がかなり配置されている。研修制度や人材育成も含めて全職員を対象してほしい。	いただいたご意見については、今後の取り組みを進めていくうえで、参考とさせていただきます。
113	86・87	118・119	現状と課題 単位施策	町職員の仕事の性質上、人事評価の対象を個人ではなく部課などグループにすればいいと思う。	いただいたご意見については、今後の取り組みを進めていくうえで、参考とさせていただきます。
114	86・87	118・119	現状と課題 単位施策	失敗に対する引き算の評価では、同じことを無難に繰り返す職員ばかりになってしまう。民間のように、新しいことにチャレンジして改革した職員や、少ない予算で他と同じ効果を上げた職員には、積み上げ式のプラスの評価をしていくことが望ましい。	いただいたご意見については、今後の取り組みを進めていくうえで、参考とさせていただきます。
115	86・87	118・119	現状と課題 基本方針 単位施策	現状と課題に「求める人材の採用計画、育成計画を明確化することが重要」とあるのに対し、基本方針、具体的な取り組みの中で「人材育成の基本方針の策定」ということが前提とされている。情報公開ということも含めて、評価の客観性を担保した上で策定内容をどのように明文化するのか。その部分が明確でないまま、35-01で「人材育成の充実」とテーマづけしているのが気になる。	いただいたご意見については、今後の取り組みを進めていくうえで、参考とさせていただきます。
116	86～97	114～125	基本施策	町民のほうを向いた行財政運営ということ考えた場合、基本施策の順番がこれでいいのか。町民の満足度や納得度の高い行政サービスの提供が先にあって、それを目指すために行政組織があり、それを受けて財政や人の問題が続くほうが自然ではないか。	ご指摘の点を踏まえ、順序を並び換えます。
117	88	116	まちづくり指標 現状と課題	縦割り行政の問題は、ずっと指摘され続けながら解消されていない。多分野に知識を有する職員の育成や、慣行となっている事務の見直しに真剣に取り組むべき。	いただいたご意見については、今後の取り組みを進めていくうえで、参考とさせていただきます。
118	92・93	120・121	現状と課題 単位施策	「世代間の負担の公平性維持の観点から・・・町債を活用」とあるが、財政が逼迫する中で町債にどこまで頼れるのか。財政計画と対になる町債の管理計画が現在ない状況で、具体的な取り組みとして町債の活用をあげることに違和感を感じる。	ご指摘の点を踏まえ、記述内容を見直します。
119	92・93	120・121	現状と課題 単位施策	38-01に「新たな財源の積極的な開拓と確保」とあるが、新たな財源以上に、観光振興や一次産業の支援などを通して町が稼ぐ力を身につけ、現在の水準以上の町民法人税を確保することがポイントになるのではないか。	ご指摘の点を踏まえた記述を追加します。
120	93	121	単位施策	38-03について、冒頭の「新たな公会計基準に基づく資産台帳・財務諸表を整備するとともに」の部分は、町民に積極的にPRするようなことではないので削除したほうがいい。	新たな公会計基準に基づく資産台帳・財務諸表を活用した財政状況の公表は、わかりやすい情報提供の一手段であると考えているため、現行案のままでいきたいと考えます。
121	93	121	単位施策	38-01に「遊休資産の活用、・・・新たな財源の積極的な開拓と確保」とあるが、町有地に生える不要な竹や杉をペレット化して販売したいというグループがある。制度として許可されれば、規模は小さくても、それがビジネスモデルとして民間の竹林や山林にも広がり、町として経済効果があがるのではないか。	より具体的な手法については実施計画において検討していきます。
122	94・95	122・123	現状と課題 単位施策	公共施設再配置の計画はできるだけ早くやったほうがいい。その検討にあたっては、道路や橋、上下水道だけでなく、教育関係も考慮する必要がある。小中高一貫校など教育関係で一定の議論がないと見直せない施設もあるはずである。	いただいたご意見については、今後の取り組みを進めていくうえで、参考とさせていただきます。
123	97	125	協働のできること	「広域連携の取り組みに、参加・協力していきます」の主語、協働の主体がわからない。文面を書き改めてほしい。	主体が分かるような表現に修正します。